

「とよなか夢基金」ニュース

（市民公益活動基金）



皆さまからいただいた寄付は、「市民公益活動推進助成金」として活用しています。

わたしの寄付は
とよなかに
笑顔のタネをまいています

特集

寄付の成果

豊中オリジナル子育て情報誌...P2

NEWS

クレジットカードが使えます!.....P4

市民公益活動推進助成金

この助成金は、地域社会の課題に取り組む団体に事業費の一部を補助することで自律的・継続的に発展していくことを支援し、市内の市民公益活動の推進を図る制度です。



特集

寄付の成果

とよなか夢基金は、まちを豊かに元気にするさまざまな市民活動に助成しています。今号では、助成を受けて3年目。年々、読者が増える子育て情報誌を発行する「SMILE編集部」をご紹介します。



子育て世代の視点に立った豊中オリジナル子育て情報誌



SMILE編集部

子育て中の親が中心となり、自らの経験や読者の声を活かした『とよなか子育て応援マガジンSMILE』を年2回発行。現在のメンバーは18人。
地域とのかかわりが減り、子育て仲間を得にくいなか、子育て世代が真に求める情報を発信し続け、安心して子育てができる環境づくりに貢献している。

- 平成21年 12月 SMILE 編集部結成
- 平成22年 4月 市民公益活動推進助成金の交付決定
- 7月 情報誌「編集委員養成講座」の開催
- 平成23年 3月 「SMILE」創刊
- 9月 「SMILE」第2号発行
- 平成24年 3月 「SMILE」第3号発行
- 4月 公式ホームページ完成
- 9月 「SMILE」第4号発行



▼写真左 イベント体験している読者に取材する代表の谷口亜美さん ▼写真右 子どもと一緒に取材する副代表の白川友子さん

子育て情報誌の誕生

「友だちがほしい!」、豊中に転入したばかりの谷口さん、好きな編集企画で社会の役に立ちたいと考えていた白川さん、2人の出会いが、『とよなか子育て応援マガジンSMILE』誕生への一歩となりました。
市が発行する子育て冊子には地域の偏りがある。市と協力して必要な子育て情報が発信できないかと考えたが実現できず自分たちで作ることを決めた2人。
「今思えば大変でしたが、市と一緒につくとさまざまな制約があったかも。自由に、必要だと思う情報を掲載できる点では、自分たちで進めてきてよかったと思っています。」と、当時は振り返ってくれました。

きっかけは助成金

いざ情報誌をつくらうと思っても、資金はないしメンバーもいない。どうしようと考えていた時に、市が交付する「市民公益活動推進助成金」の存在を知ります。これを受けるために、実施する事業の企画書をつくらたり公開の場でプレゼンテーションしたりと大奮闘。でも、こうした過程を経ることで、発行目的や年間計画などを明確にできました。そして、見事、助成金を獲得!
助成金で実施できたのが「編集委員養成講座」。メンバー集めと作成技術の習得を一度に解決できました。2人で始めた活動が、講座終了後にはメンバー16人に成長。現在は18人にまで増えています。

メンバーと読者でつくる

子育て中の不安な気持ちや悩みは、子どもの成長に応じて変わっていくもの。さまざまなメンバーが『SMILE』に関わることで、記事の内容が広がり、それぞれの得意分野を活かした作業分担もできます。ときには、子育ての先輩に日ごろの悩みを相談することも。



9月27日、読者向けの保育付きビーズ講座を開催。母親同士のよき交流の場となった。

友達であり一緒に活動をする仲間でありといった、“ママ友”とは違った関係を築いている。そのことが、子育てしながら活動できる団体をつくり、楽しく情報誌づくりを続けられているコツなのかもしれません。
そんなSMILE編集部では、読者の声を聴く座談会やアンケートを実施するなど、ニーズの把握にも努めています。読者から届くお便りには、子育てについてのさまざまな不安や悩みが綴られていることが多く、ますます情報誌の必要性を感じている皆さんです。

常に新しいことにチャレンジ

4,000部から始まった情報誌は年々、部数を増やし、今では7,000部発行。少しでも協力したいという読者登録制度もあって、「スマイルママ」として、取材や配布、イベントのお手伝いなどのさまざまな場面で活躍してもらっています。
また、新たな情報発信の場としてホームページを作成。子育て中の親が交流できるさまざまなイベントも開催しています。
常にチャレンジすることで認知度が上昇し、子育て世代の支持を広げているSMILE編集部。これからも、いきいきと活動を続け、親子の笑顔を増やして欲しいと思います。

読者のお便り
豊中に引越ししてきて3ヶ月。引越しの片づけの新しい環境での慣れない生活でストレスがたまってきた時にSMILEを読みました。みんながほんわかした気持ちになり、豊中で良いところがあると思えてきました。

平成24年度は9事業に助成を予定しています。今後も随時取材内容を豊中市のホームページに掲載していきますので、「豊中市 平成24年度 活動紹介」で検索し、ご覧ください。

助成事業イベント情報

- 11月 10日 ラミュズイクマルシェせんり2012
11日 ⑤せんちゅうパル北広場など(千里)
「千里を音楽があふれる街に」を掲げ、ヨーロッパの青空市場のような音楽と屋外マーケットを開催(ラミュズイクマルシェせんり実行委員会)
- 12月 8日 小学生対象の国際理解体験授業
⑤すてっぷ(本町)
地域の外国人を講師に招き、さまざまな国の文化について交流をはかる
※表紙写真は、料理作りをとしたメキシコ文化体験授業(8月)
(とよなか地球一周フォーラム)
- 9日 観客体験型ハンドベルコンサート
⑤とよなか起業・チャレンジセンター(蛍池)
子どもから年配の多世代間が、音楽を通してつながりを感じられる観客体験型のコンサート
(ハンドベルチーム myu-みゆう)
- 22日 市民が創るジャズ音楽祭「Civic Jazz」
⑤よみうり文化ホール(千里)
ジャズ文化普及と地域の活性化、若者への啓蒙の場づくりを目的としたジャズ音楽祭
(シビックジャズコミュニティ)
- 1月 20日 豊中シャンソン祭り(薔薇色の人生)
⑤アクア文化ホール(曽根)
中高年の方を対象にシャンソンを身近に感じてもらうコンサート (NPO法人関西シャンソン協会)
- 2月 10日 第2回とよなか国際音楽祭
⑤アクア文化ホール(曽根)
豊中在住の外国人ミュージシャンによる生演奏会。珍しい楽器演奏やペルーのポスター展示などによって異文化交流を行う
(アマウタぶんか倶楽部)

年間を通して実施している事業

- 月1-3回 ダウン症の乳幼児育児サークル事業
⑤すこやかプラザ(岡上の町)
ダウン症の乳幼児を対象にしたリクリエーションを開催
(ぼかぼか広場)
- 随時 景観水路の花壇の整備
⑤景観水路(島田)
庄内の景観水路の花壇整備を通して、地域住民の交流を深める
(島田花ふれあいサークル)

わたしたちも応援します

寄付者からいただいたメッセージをご紹介します

企業の声

寄付が地域への恩返し、また豊中の活性化につながることを期待します。

voice

御菓子司 京屋

優しさの中にも奥深い伝統の味を守って35年。工夫菓子もつくる和菓子職人は「材料はよいものしか使わない」と言いきる。地域活性化のために開発した「白球さぶれ」や「白球もなか」が豊中土産として大人気。

豊中市浜 1-25-11 電話 06-6334-5380
豊中市小曽根 1-10-43 電話 06-6336-8661

企業の声

おやつ宣言に参加したのがきっかけです。市民活動に少しでも役にたてばと寄付しました。

voice

ローズ洋菓子店

昭和40年オープン、地元豊中をこよなく愛するお店。添加物を使わない自然の味を大切に、素材にこだわった優しいお菓子が並ぶ。店内の工房で作られるできたてヘルシーなケーキがお手頃価格なのも嬉しい。

豊中市本町 7-4-26 電話 06-6854-6876

寄付者のご紹介

平成 23 年 10 月～平成 24 年 9 月に
寄付をくださったみなさま(敬称略・五十音順)

団体

御菓子司 京屋
株式会社 山利製作所
シビックジャズコミュニティ
豊中の市民活動を応援する会
豊中マンション管理士会
ローズ洋菓子店

個人

青木康修 上原ヨシヲ
奥野真理 川野達也
桐畑照子 清水高子
田中正三 遠山一喜
中井郷之 中島諒平
西村拓夫 宮里清吉 匿名 21 名



ご寄付をいただきありがとうございます

市民の声

市民の色々な活動に対して活用してもらえ、毎年助成する団体も変わる。報告会も行い、そこに出向くと活用された内容もわかる。市民活動を応援したい私の気持ちを活かしてくれるから、寄付を毎年しています。(匿名)

寄付もボランティアのひとつだと聞きました。活動などできない私でも、少しでも何かの役に立てたらうれしいです。(匿名)



NEWS

ふるさと納税にクレジットカードが使えます

実質自己負担が 2,000 円になる寄付上限額 (目安)

| 区分 | 単身の 給与所得者 | 配偶者を 扶養している 給与所得者 |
|--------------|--------------|-------------------------|
| 年収 500 万円 | 34,000 円 | 30,000 円 |
| 年収 700 万円 | 59,000 円 | 55,000 円 |

詳しくはお住まいの市区町村住民税担当課へ
(豊中市市民税課 06-6858-2131～2133)

寄付をされた方は確定申告をする、寄付金から 2 千円を超えた部分について住民税所得税が安くなります。

金融機関や郵便局(ゆうちょ銀行)での振り込みも、これまでもおりにできます。

9 月から、豊中市への寄付がクレジットカードでもできるようになりました。寄付申込用紙か市ホームページでお申込みいただくと、支払番号と確認番号を連絡します。インターネット Yahoo! 公金支払いのふるさと納税のサイトから手続きしてください。

ふるさと納税制度は、豊中を応援したい貢献したいという気持ちを寄付という形で実現し、まちづくりに参加いただける制度です。

9 月からは、豊中市への寄付がクレジットカードでもできるようになりました。寄付申込用紙か市ホームページでお申込みいただくと、支払番号と確認番号を連絡します。インターネット Yahoo! 公金支払いのふるさと納税のサイトから手続きしてください。